

コンセプトが大問題！

そもそも開門調査を行うのに
環境影響評価法に準拠したアセスメントを行う必要はない！

2008年7月10日 佐賀地裁開門判決を控訴するにあたって、
「開門調査のためのアセスメントを行う」との農水大臣談話

2010年12月 福岡高裁開門判決確定

2011年6月 ようやく準備書素案公表

10月準備書公表

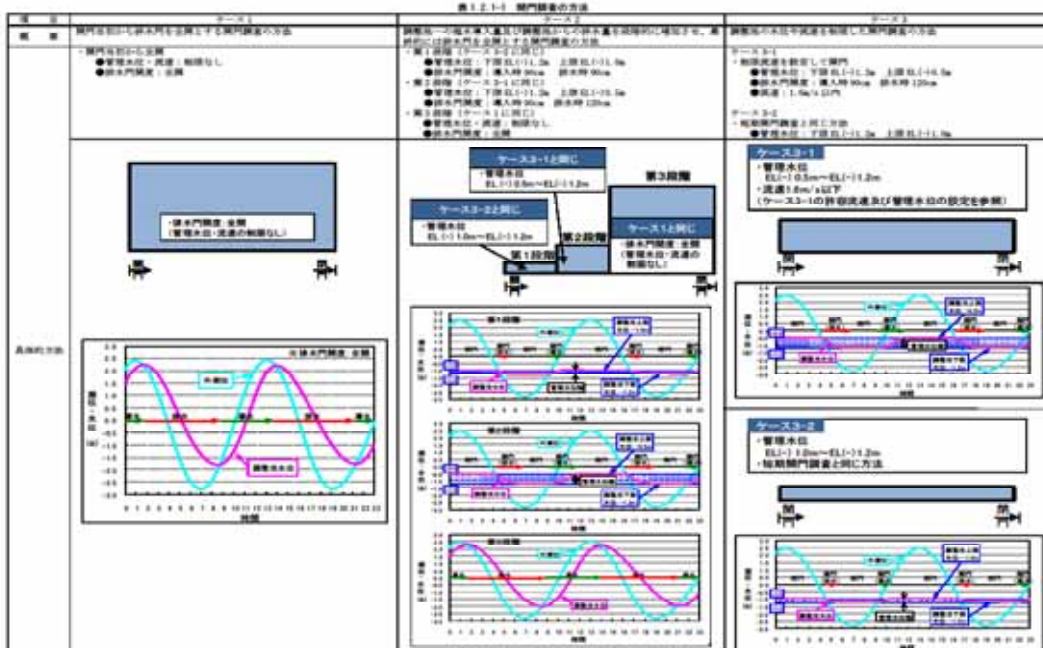
2011年度中に評価書公表の予定・・・未だ公表せず。

開門アセスとは、開門先送りの方便

ケース1
いきなり全開門

ケース2
段階的開門

ケース3 - 1
3 - 2
調整池の水位や
流速を制限した開門



「ケース2の第1段階はケース3 - 2と、第2段階は3 - 1と、第3段階はケース1と同様」とし、段階的開門について真剣な検討をしていない。

諫早湾干拓事業

Ⅲ 環境影響評価のまとめ(その1)

※ケース2の第1段階はケース3-2と、第2段階はケース3-1と、第3段階はケース1と同様

項目	ケース1	ケース3-1	ケース3-2	
自然的構成要素	潮位(水位)	・海域は諫早湾及び有明海にほとんど変化はみられない。 ・調整池内は潮汐に連動しEL (-)1.84~(+)2.37mの範囲で変動。	・海域は同左。 ・調整池内は出水期に一時的にEL (-)1.20~(-)0.41mの範囲まで変動。	・海域は同左。 ・調整池内は出水期に一時的にEL (-)1.20~(-)0.68mの範囲まで変動。
	潮流(流速)	・海域は南北排水門近傍で最大4~5m/s程度の流速。下げ潮で島原半島に沿う流れが速くなる。 ・調整池は南北排水門近傍で最大4~5m/s程度の流れ。	・海域は南北排水門近傍で最大1.6m/sの流速。変化は諫早湾内にとどまる。 ・調整池では南北排水門近傍で最大1.6m/s程度の流れ。	・海域は南北排水門近傍で最大1m/s程度の流速。変化は諫早湾内にとどまる。 ・調整池は南北排水門近傍で最大1m/s程度の流れ。
	水質	・海域は諫早湾内で濁りが顕著に増加し、有機物・栄養塩類も増加し、諫早湾湾口部周辺まで拡大。DOは排水門前で夏季の極端な貧酸素が緩和。その他の諫早湾及び有明海では変化はみられない。 ・調整池は北部側で濁りが年間通じて顕著。	・海域は諫早湾湾奥部から湾奥部で濁りが増加。DOは排水門前で夏季の極端な貧酸素がやや緩和。その他の諫早湾及び有明海では変化はみられない。 ・調整池はクロロフィルaが夏季に20pg/Lを上回る。	・海域は諫早湾湾奥部で濁りが増加。DOは諫早湾内で顕著な変化はない。その他の諫早湾及び有明海では変化はみられない。 ・調整池はクロロフィルaが夏季に20pg/Lを上回る。
	地形・地質	・海域は北部排水門近傍で開門当初2~3mの洗掘、1年後には最大5m程度の洗掘。諫早湾湾奥部の北部沿岸部等に最大0.6m程度の堆積。 ・調整池は排水門近傍で最大2m程度の洗掘。河川旧河口部等に0.5m程度の堆積。	・海域は北部排水門近傍で開門当初0.5m程度の洗掘、1年後には最大で0.8m程度洗掘。諫早湾湾奥部の北部沿岸部等に最大0.2m程度の堆積。 ・調整池は北部排水門周辺で1m程度洗掘。河川旧河口部等に数cm程度の堆積。	・海域は北部排水門近傍で1年後最大0.5m程度洗掘。諫早湾湾奥部の北部沿岸部に数cm程度の堆積。 ・調整池は北部排水門周辺等で0.5m程度洗掘。河川旧河口部等に数cm程度の堆積。
	生物・生態系	・海域は諫早湾内で濁り等により水生生物、海域生態系に影響。 ・調整池は干陸地がほぼすべて(約700ha)冠水し、塩水化及び水位変化により水生生物、陸生生物及び陸域生態系に影響。	・海域は水生生物及び海域生態系への影響は小さい。 ・調整池は干陸地の多く(約290ha)が冠水し、塩水化及び水位の変化により水生生物、陸生生物、陸域生態系に影響。	・海域は水生生物及び海域生態系への影響は小さい。 ・調整池は塩水化により水生生物に影響。陸生生物、陸域生態系への影響は小さい。

110

本当の段階的開門は、安全・安心な水門開放を実現。ケース1とは違う結果になる。

対策費用に1000億円! ? これは大きな水増しだ!!

諫早湾干拓事業

(参考) 必要な対策工(現時点での概算値であり、今後、変更・追加がある)

【右欄は概算工事費(単位:億円)】

対策工	ケース1・ケース2	ケース3					
		3-1	3-2	3-1	3-2		
農業	代替水源の確保(地下水利用)	6地区(約1,000ha、約320万m ³ /年)	15	同左	15	同左	15
	既設堤防・樋門の補修(塩水浸入の防止)	183箇所	7	93箇所	6	93箇所	6
	常時排水ポンプの設置(背後地排水悪化の防止)	19箇所(約12m ³ /s)	47	16箇所(約11m ³ /s)	37	9箇所(約8m ³ /s)	33
漁業	排水門周辺に護床工を設置(洗掘の発生防止)	約147ha	395	-	-	-	-
防災	洪水時排水ポンプの設置(灌水の拡大防止)	20箇所(約142m ³ /s)	291	17箇所(約56m ³ /s)	135	-	-
	洪水時排水ポンプの設置(調整池流入河川の溢水防止)	1箇所(約110m ³ /s)	187	-	-	-	-
	堤防の法面保護(堤防法面の浸食防止)	約9km(約30万m ²)	43	-	-	-	-
	波返の設置(堤防天端の越波防止)	約10km	13	-	-	-	-
振動計の設置等(振動による排水門の損傷防止等)	8門	2	8門	2	8門	2	
生物	淡水性魚貝類の移植、ヨシの刈取・撤去等(水質悪化、悪臭の防止)	一式	18	一式	6	一式	1
対策工事費		1,017	201	57			
測量設計・用地補償等費		60	38	25			
合計		1,077	239	82			

注:表中の概算工事費は小数点以下を四捨五入しているため、合計が一致しない場合もある。

112

汚泥巻き上げによる漁業被害防止策 全開門時の捨石工に395億円？

(算定根拠、工期・工法まったく不明)



代替案なら約20億円 / 工期1～1.5年

(汚泥先行除去 多孔遮水シート + 押え蛇籠)

密封吸引式剥層除去装置

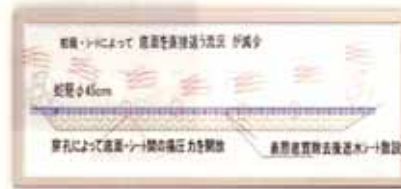


【第1段階: 汚泥先行剥層除去～汚泥巻き上げ発生源の削減】
「底質汚泥の除去から減容化・無害化処理に至る一連工法」
(大村湾、鹿児島湾などでの実績あり)
簡便な手法装置で迅速廉価

【第2段階: 排水門周辺(150mの範囲)に多孔遮水シートを敷設し、蛇籠で押える】

材料は廃棄物処理場に多用されている遮水シート。
針金によって組まれた円筒形の蛇籠に捨石を入れ、
多孔遮水シートの押えに用いる。

○押え蛇籠



○多孔遮水シート (厚さ1.5～2mm)

品名	仕様	単位	数量	単価	総額
多孔遮水シート	厚さ1.5～2mm	㎡	150	100	15000
押え蛇籠	直径φ40cm	個	100	200	20000
捨石	粒径φ100mm	トン	100	1000	100000
合計					135000

洪水時排水ポンプに478億円！？

2003年の中長期開門調査検討会議や裁判では
200億円と言っていたはず。

それに、諫干に洪水時の防災効果はないのだから、
**開門とは関係なく排水ポンプ設置や排水路拡幅の防災対策を
早急に行わなければ！**

これを開門経費に計上するのもおかしいよね。

潮受け堤防締め切り前15年間の湛水被害 7件
締め切り後11年間の湛水被害 17件

調整池の水位が背後地よりも高くなり、自然排水ができず湛水時間が長期化

地下水(深井戸)案ばかりをアピール

地盤沈下で苦しめられてきた住民心理を計算した
開門サボタージュの言い訳

簡易ため池(応急的対応) + 下水処理水など(恒久的対応)
の2段階で!

中海干拓地での実例もあり。

しかし、開門アセスでは触れられず。

確保すべき農業用水量320万トンも過大

閉め切り前の豊かだった干潟生態系への復元という開門目的は語られず。
閉め切り後に新たに生じた淡水の生態系が破壊されると問題視。

アオコやユスリカの大発生など現実の被害はまったく無視。
(毎夏、有毒なアオコだらけの排水が大量に排出。湾内の魚貝類にも蓄積。)



一日も早く調整池内を海水交換して水質の浄化を!

第8編 環境影響評価を委託された者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境影響評価を九州農政局長から委託された者で、本書の作成に携わった者の名称、代表者の氏名、主たる事務所の所在地及び本書作成担当箇所は、以下のとおりである。

名 称 : いであ株式会社
代 表 者 : 代表取締役社長 小島 伸一
事務所の所在地 : 東京都世田谷区駒沢三丁目15番1号

名 称 : 国際航業株式会社
代 表 者 : 代表取締役社長 中原 修
事務所の所在地 : 東京都千代田区六番町2番地

名 称 : 財団法人 九州環境管理協会
代 表 者 : 理事長 持田 勲
事務所の所在地 : 福岡市東区松香台一丁目10番1号

名 称 : 内外エンジニアリング株式会社
代 表 者 : 代表取締役社長 池田 正
事務所の所在地 : 京都市南区久世中久世町一丁目141番地